

第29回 河内長野市地域公共交通会議録

会議名称	第29回河内長野市地域公共交通会議
開催日時	平成28年1月13日（水） 午後3時00分～
開催場所	河内長野市役所 602会議室
公開・非公開の別 （非公開とした 場合はその理由）	公開
傍聴者	0人
出席委員	別紙出席者名簿のとおり
会議次第	<p>(1) 平成27年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について</p> <p>(2) 総合時刻表入りバスマップ及び企画乗車券PRポスター、チラシについて</p> <p>(3) コミュニティバスの利用促進の検討について</p> <p>(4) 公共交通不便地域（桐ヶ丘地域）の解消に向けた取り組みについて ～楠ヶ丘地域乗合タクシー（くすまる）の体験乗車及び意見交換会～</p> <p>(5) 楠ヶ丘地域乗合タクシー（くすまる）に関する研究報告について</p> <p>(6) その他</p>
会議内容	別紙会議内容のとおり

第29回 河内長野市地域公共交通会議内容

発言者	内容（要旨）
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 第29回河内長野市地域公共交通会議開会の案内 ➤ 各委員の出欠状況の報告 ➤ 関係者（楠ヶ丘交通対策委員会）の紹介
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">【議題1】平成27年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について</div>	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 標記の事業評価を報告し、承認を得るため、資料1について説明。 ➤ 審議の結果、各事業評価の内容について承認を得た。 ➤ また、今後国土交通省への申請に伴う軽微な修正については事務局に一任いただくことの承認を得た。 <p style="text-align: center;">（各委員及び事務局の主な発言内容は以下のとおり）</p>
日野副会長	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 今回で三代目となるバスマップについて、どの程度認知され、利用されているのかなど、利用者側からの評価も必要である。また、今後事業を実施していく際には、実施後における受け手側からの評価も検討していただきたい。 ➤ ICカードの利用に伴うデータ収集について、関係学会では事業者が持つデータを用いた分析が増えてきており、利用者ニーズに合った改善により事業者の収益増につながっているケースもある。今後、事業者を中心にビッグデータの活用方法などを交通会議の場でも議論していきたい。
野谷委員	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ICカードの利用は徐々に増えてきており、さらに推進していきたい。ポイント還元などの特典についても、今後考えていきたい。
坂口氏 （南海バス）	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 河内長野営業所管内におけるICカードの利用率について、11月実績では25%から30%程度となっている。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 昨年度に作成したバスマップの評価のため、市政モニターに対してアンケートを実施している。集計結果を新たなバスマップに反映させていきたい。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">【議題2】総合時刻表入りバスマップ及び企画乗車券PRポスター、チラシについて</div>	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 標記のバスマップ及びポスター、チラシの進捗状況の報告のため、資料2について説明。 <p style="text-align: center;">（各委員及び事務局の主な発言内容は以下のとおり）</p>

田中委員	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 12、13ページのおでかけスポットで、河内長野駅から最寄りのバス停までの所要時間も明記してはどうか。
日野副会長	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 将来的には広告収入で作成経費を賄うことも考えていく必要がある。 ➤ 他市でバス情報などを掲載した情報誌の経費の一部を広告収入で賄っている例もある。今後、継続的に取り組むためにも商工会や観光協会などと連携しながら検討していただきたい。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">【議題3】コミュニティバスの利用促進の検討について</div>	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 標記の利用促進策の報告のため、資料3について説明。 <p style="text-align: center;">（各委員及び事務局の主な発言内容は以下のとおり）</p>
向井会長	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 明石市たこバスの運行はどこかに委託しているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 山陽バスや神姫バス、地元のタクシー会社に委託されている。
日野副会長	<ul style="list-style-type: none"> ➤ たこバスは以前トリガー方式を採用したことで有名になった。地域住民の需要を調査され、地域の自主性を後押しする形で、いろんな立場の方々が関わっていくことで運行を維持している。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">【議題4】公共交通不便地域（桐ヶ丘地域）の解消に向けた取り組みについて</div>	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 標記の取り組み結果の報告のため、資料4について説明。 <p style="text-align: center;">（各委員及び事務局の主な発言内容は以下のとおり）</p>
日野副会長	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 運輸局では他市、隣接市との連携も推進している。桐ヶ丘の近くには大阪狭山市の循環バスが運行しているので、うまく連携できないか検討してみてもどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 大阪狭山市の循環バスとの連携については以前に協議した経緯がある。循環バスは、路線バスとの競合回避のため団地を周らずに公共施設を巡るコンセプトで運行している。大阪狭山市内でもそのように周知している中で、他市の団地を走らせるのは難しいとの結論で協議が終わっている。 ➤ 循環バスの乗り入れは難しいが、別の視点で考えられないか、今後も近隣市との協議を続けていきたいと考えている。
日野副会長	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「観光」をテーマにして、どこかの市に事務局を置いて他市と連携して会議を開催するなどしてはどうか。運輸支局で企画できないか。

<p>若林委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 観光という視点で考えると、市単独では外国からのインバウンドや国内の旅行客を集めることが難しい地域もあることから、運輸局としても他市との連携の必要性を感じている。 ➤ 今年度から運輸局に観光部ができ、国としても観光に注力しており、今後は広域的な連携を見据えた施策に取り組んでいく流れにある。今でも南河内では観光などで広域的なつながりがあると思うので、そういった場を活用して、運輸局のコンセプトも入れながら良いアイデアを出し合って協議していきたいと考えている。 ➤ 現在、堺市で観光分野に動きがあるので、いろいろつながりを持って進めていこうと考えている。
<p>【議題5】楠ヶ丘地域乗合タクシー（くすまる）に関する研究報告について</p>	
<p>新井氏 <small>（楠ヶ丘交通対策委員会）</small></p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 標記の研究報告のため、資料5について説明。
<p>金山氏 <small>（楠ヶ丘交通対策委員会）</small></p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ くすまるは楠ヶ丘の地域内だけ巡回しているため、利用者数の確保など運行維持がとても難しい。今は若くて動ける人でもいずれ動けなくなる。10年、20年後に必要なであろう地域の人たちに、サポーターのようになってもらい、くすまるが存続できるようにがんばっていきたい。
<p>（各委員及び事務局の主な発言内容は以下のとおり）</p>	
<p>日野副会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 他市では、ある地域の自治会が、自分たちの地域を運行しているコミバスの利用促進のために、目標達成に必要な利用者数などをPRすることで、周囲の住民も巻き込んだ結果、目標を達成した事例がある。 ➤ また、地域からの提案で、一般の路線バスのダイヤ改正が実現したこともある。くすまるのような地域型の取り組みの他にも、一般の路線バスの利用などについて、地域が自ら利用実態を調査して、事業者と協議して改善された例もあるので、参考にしてもらいたい。 ➤ セミ・デマンド型の社会実験については、これまでもある一定のエリアだけ要求があれば寄っていくような運行の例はある。ただ、20年程前に大阪南港で同じような社会実験で失敗した例がある。許認可の関係でどの範囲まで行けるのかわからないが、特定のルートニーズがあるときだけ迂回して運行するような事例はあるので、いろいろ検討してもらいたい。
<p>井戸委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 現在、商工会のホームページのリニューアルを検討している。可能であれば総合時刻表とリンクさせることで、広告収入など何らかの方策につなげられるのではないかなと思う。今まで連携できていなかったものと連携させることで持続的な取り組みにできるのではないかな。

【議題6】その他

日野副会長

- 事業者には、フリー乗降の導入後の動向など情報提供をお願いしたい。フリー乗降は、交通安全上の問題もクリアする必要があるなど、導入できる条件は限られるので、今後のためにも協議していきたい。
- また、千代田線についても路線延伸後の利用状況など情報提供していただき、この交通会議の場で協議していきたい。
- 大阪府では、道路空間の考え方を提示されていて、自動車の空間を歩行者・自転車利用者へという観点で進めている。その中で、道路空間の再配分と合わせて公共交通の利便性改善を謳っており、そのような取り組み事例があれば紹介していただきたい。

事務局

- 交通会議の平成28年度予算については3月末までに委員の皆様から承認をいただく流れとなっているが、今回は書面による承認に代えさせていただくので、よろしくをお願いしたい。
- 次回の交通会議は5月を予定している。内容については、国庫補助金であるフィーダーに関することやモックルコミュニティバスの乗り込み調査結果などを報告する予定。

以上

第29回河内長野市地域公共交通会議委員名簿

平成28年1月13日（水） 午後3時から 河内長野市役所 602会議室

	氏名	所属・役職	代理出席
会長	向井 一雄	河内長野市 副市長	
副会長	日野 泰雄	大阪市立大学大学院 工学研究科 教授	
委員	伊勢 昇	和歌山工業高等専門学校 環境都市工学科 准教授	
委員	若林 隆司	国土交通省 近畿運輸局 大阪運輸支局 総務企画部門 首席運輸企画専門官	
委員	湯川 義彦	国土交通省 近畿運輸局 大阪運輸支局 輸送部門 首席運輸企画専門官	
委員	矢田 昌己	大阪府 都市整備部 交通道路室 都市交通課 公共交通計画グループ 課長補佐	
委員	田中 伸之	大阪府 富田林土木事務所 地域防災担当参事兼地域支援・企画課長	
委員	八代 光男	大阪府 河内長野警察署 交通課長	
委員	松内 祐二	南海バス株式会社 企画部 企画課長	
委員	野谷 将一	南海バス株式会社 営業部 営業課長	
委員	坂本 頼幸	南海バス株式会社 労働組合代表	
委員	林 邦昭	大阪第一交通株式会社 河内長野営業所長	
委員	椋本 専次	近鉄タクシー株式会社 南大阪総合営業所長	欠席
委員	曾和 孝司	河内長野市老人クラブ連合会 会長	欠席
委員	阪上 明	河内長野市観光協会 相談役	
監事	井戸 清明	河内長野市商工会 会長	
委員	岩井 仁	市民公募	
監事	廣門 久美子	市民公募	欠席
委員	岡田 充	河内長野市健康長寿部長	
委員	田村 公秋	河内長野市産業経済部長	欠席
委員	榭井 繁春	河内長野市都市づくり部長	
委員	塩谷 聡	河内長野市総務部長	
委員	辻野 修司	河内長野市総合政策部長	欠席